

## タウン情報③④

### 拝み屋の佐太さん

「出雲大社教多摩教会」の看板を掲げて、火渡り、刀のハシゴ乗り、釜うないなどの秘法を行い、大勢の信者を集めていた。浜田山四丁目一四番の「拝み屋の佐太さん」と安藤佐太郎さんの事について、農業の傍ら神道大社教の布教師として高井戸をはじめ近隣地域の主として農家の間で「拝み屋の佐太さん」と言われ知られていた。若い頃から修験の厳しい修行を納め、白無垢に紋付袴の行者のいでたちで大正の初めから昭和にかけて「ご祈祷」「方除け」「禁厭」などを勤修した。呪術を施行してもらい依頼者は一安心する。また、病氣・怪我などの回復が早ければ、佐太さんへの信頼度が更に増幅し評判を呼んでいた。このような神様扱いされた人が高井戸にいた。

杉並風土記より抜粋



恥法・刀のハシゴ乗りと安藤佐太郎氏（向瓦右側）（安藤昇全氏提供）

# タウン情報③⑤

## 久我山の庚申塔

久我山には、それぞれ特徴のある5つの庚申塔があるので順次簡単に述べる。

- (1) 牟礼橋(どんどん橋)の所(玉川上水と人見街道との交差点にある庚申塔は元禄13年(1700)の造立のもので、右上には「奉供養庚申」と彫られている。
- (2) 旧人見街道の久我山病院東側にあるのは、安永5年の庚申塔と享保15年(1730)に造られた如意輪観音座像と一緒に祭られている。この庚申塔は、久我山村学原といわれた頃、他地区よりここに安置されたものである。道標もかかっている。
- (3) 久我山駅東の久我山街道の新道と旧道の分れ道にあるもので享保7年(1722)に造立されたもの。右側の石塔には、「右いのかしら三ち」「左ぶちゆう三ち」とあり「井の頭財弁天信仰の道しるべ」となっていたようだ。
- (4) 久我山稻荷神社にある庚申塔は、元禄16年(1703)に祀られたもので、西向きの庚申様といわれ、養蚕や我家の繁栄を祈願していたものといわれる。
- (5) 久我山墓地(光明寺跡)にある石塔

「小堂内には、寛文5年(1665)銘庚申塔、宝永5年(1708)銘念仏供養塔、享保4年(1719)銘地藏菩薩、寛文10年(1670)銘日侍塔、享保8年(1723)銘六地藏菩薩が安置されている。これらの石塔は、久我山村の各所にあつたものと確認できる。

### 久我山の歴史と北烏山寺町 岩崎通信機(株)発行より抜粋

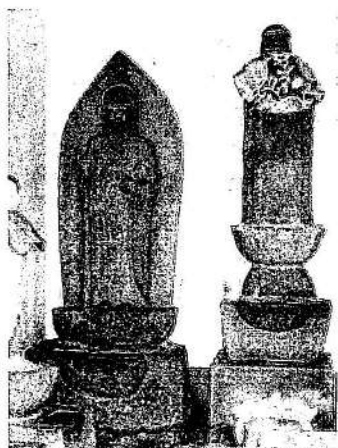


図4.2-7 光明寺跡の庚申塔  
(中央、図1.4-6も参照)

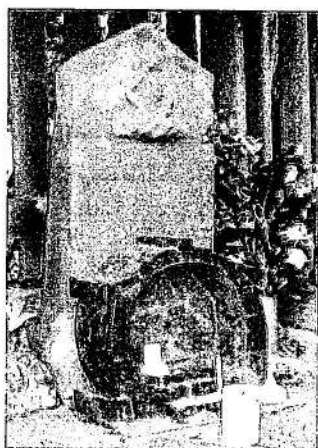


図4.2-1 牟礼橋際の庚申塔

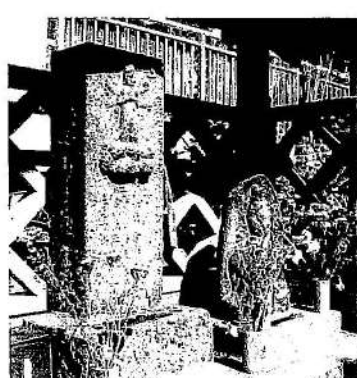


図4.2-2 久我山病院東側の  
庚申塔と如意輪観音坐像



図4.2-6 久我山稻荷庚申塔